

# 金王丸と金王桜



こんのうまる      こんのうざくら

## 金王丸と金王桜 [渋谷区指定天然記念物]

渋谷金王丸常光は、渋谷重家の子として永治元年(1141)8月15日、この地に生を受けました。

重家夫妻は子に恵まれず金王八幡宮に祈願を続けると、金剛夜叉明王が胎内に宿る霊夢をみて子を授かり、明王の上下二文字を戴き金王丸と名付けました。



金王丸17歳の時、源義朝に従い保元の乱に出陣、続く平治の乱に敗れ敢え無い最期を遂げた義朝の大事を京の常磐御前に知らせたのが金王丸です。その後金王丸は義朝の菩提を弔うため出家し、土佐坊昌俊と名乗りました。

鎌倉開幕ののち、金王丸は頼朝に義経追討を命じられ、義経との親交も深い金王丸でしたが断ることもできず、文治元年(1185)10月23日義経の館に討ち入り、勇将らしい立派な最期を遂げました。

頼朝は、金王丸の忠義を偲び、「その名を後世まで残すべし」と厳命し、金王八幡宮に桜樹を植え**金王桜**(渋谷区指定天然記念物)と名付けました。



金王桜は、一枝に一重と八重が混じる大変珍しい桜で、江戸三名桜として、江戸名所図会にも描かれました。

金王桜の傍らには、

「しばらくは 花のうえなる 月夜かな」

松尾芭蕉の句碑も建立されています。

現在、金王丸の遺品として保元の乱出陣の折、母に形見として自ら彫った**金王丸尊像**や**毒蛇長太刀**が金王八幡宮に保存されています。



26日のみ



出店・協力

- シダックス中伊豆ワイナリーヒルズ株式会社：キッチンカー
- kokope♪i(ココペリ) 鈴木雅彦：キッチンカー
- STABLER：キッチンカー
- 株式会社コロパン：みっころ及び物販(26日のみ)
- まあさ：大道芸
- 株式会社ハッカインターナショナル：PR